



[HOME](#) > [重水素実験について](#) > [重水素実験安全評価委員会<第21回>](#)

## » 重水素実験について

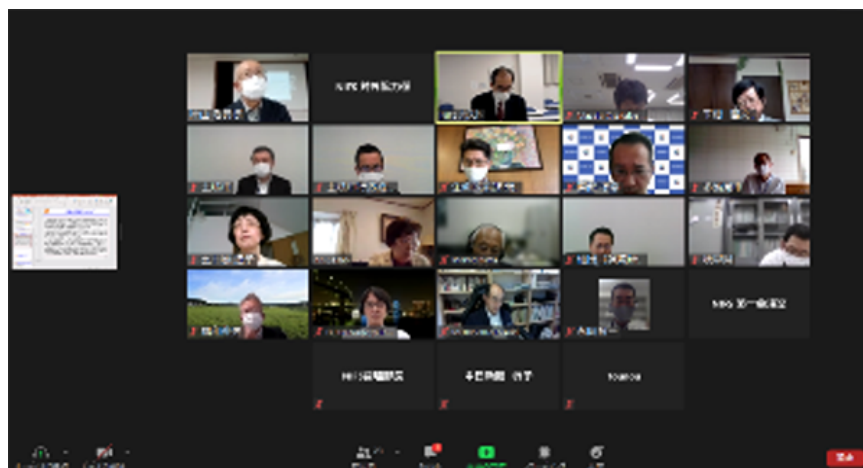
### 核融合科学研究所重水素実験安全評価委員会<第21回>

重水素実験安全評価委員会(第21回)が、令和3年5月28日(金)にオンラインで開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン会議で行われた委員会には、10名の委員と、オブザーバーとして関係自治体から4名の方が出席されました。本委員会は公開されており、今回は報道関係2名の方が取材のため傍聴されました。

委員会では、片山幸士委員長(人間環境大学名誉教授)の進行のもと、研究所から、報告事項等の「大型ヘリカル装置(LHD)における第4年次の重水素実験の実施結果等について」、第4年次の重水素実験の成果、今後の予定及び安全管理体制などの報告がありました。

次いで、審議事項等の「第5年次の重水素実験の準備状況等について」、実験に向けた加熱装置の改造等の概要説明、及び「LHD重水素実験放射線管理年報(2020年4月1日～2021年3月31日)(案)について」、内容の説明がありました。

委員からは、分かりやすい研究成果等の発信について、地震等の自然災害に対する安全対策や市民説明会におけるこれまでの質問の様子等について、意見・質問等が出されるなど、活発な意見交換が行われました。なお、審議事項等については、それぞれ質疑応答の後、1の準備状況等の内容が確認されるとともに、2の(案)が了承されました。



## 議 事

### 報告事項等

1. 大型ヘリカル装置(LHD)における第4年次の重水素実験の実施結果等について

### 審議事項等

1. 第5年次の重水素実験の準備状況等について
2. LHD重水素実験放射線管理年報(2020年4月1日～2021年3月31日)(案)について

◆配付資料

核融合科学研究所重水素実験安全評価委員会（第21回）議事次第

資料1 核融合科学研究所重水素実験安全評価委員会委員名簿

資料2 大型ヘリカル装置（LHD）における第4年次の重水素実験の実施結果等について

資料3 第5年次の重水素実験の準備状況等について

資料4 LHD重水素実験放射線管理年報（2020年4月1日～2021年3月31日）（案）

◆当日の会議録

◆LHD重水素実験放射線管理年報（2020年4月1日～2021年3月31日）

[ページのトップへ ▲](#)

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 核融合科学研究所

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6 TEL0572-58-2222 Fax.0572-58-2601

©National Institute for Fusion Science

核融合科学研究所重水素実験安全評価委員会委員名簿

令和3年5月28日現在

【50音順】

いがらし みちこ 五十嵐 道子	フリージャーナリスト	
うへだ しんじ 植田 真司	公益財団法人環境科学技術研究所 環境影響研究部 次長	
かたやま ゆきお 片山 幸士	人間環境大学 名誉教授	[委員長]
ささお まみこ 笹尾 眞實子	東北大学 名誉教授	
たまき ともふみ 玉樹 智文	元 島根大学法文学部 准教授 石拾地区核融合科学研究所環境保全対策委員会 委員	
ふくわ のぶお 福和 伸夫	名古屋大学減災連携研究センター 教授	
ふじ まさよし 藤 正督	名古屋工業大学先進セラミックス研究センター 教授	
まなべ たかゆき 眞部 孝幸	中京学院大学看護学部 学部長補佐・教授 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 招へい教授	
ももしま のりゆき 百島 則幸	九州環境管理協会 理事長 九州大学 名誉教授	[議長代理]
もりした なおき 森下 直貴	一般社団法人老成学研究所 所長 浜松医科大学 名誉教授	
わたなべ かつし 渡辺 勝士	元 土岐市立泉西小学校 教頭	

[オブザーバー]

土岐市、多治見市、瑞浪市、岐阜県の担当部長

2021年(令和3年)5月29日(土曜日)

21 岐阜総合

# 実験装置 増設申請へ

## 核融研、原子力規制委に

核融合反応を応用した発電を研究する核融合科学研究所(土岐市下石町)は、核融合炉開発の研究に用いる実験装置を増設し、原子力規制委員会に変更申請をする。二十八日にオンラインで開かれた安全評価委員会で報告した。

同研究所では、大型ヘリカル装置(LHD)を使った核融合の実験のほか、将来の核融合発電所に建設する核融合炉の素材についても研究している。加速器につなげて使う実験装置を一台増設し、より精度の高い解析を目指す。加速器が放射線同位元素等規制法に基づく実験装置であるため、変更申請を行うが、研究所全体の年間の放射線量に変化はないとしている。

LHDでの重水素実験は十月中旬〜来年一月中旬に実施することも示された。研究所の安全対策や成果報告に対し、委員からは「地震対策を明確に示すべきだ」「成果を市民にもわかりやすく発信してほしい」と提案があった。四月に就

任した吉田善章所長は「アドバースを受け止め、今後の活動に生かしたい」とあいさつした。

安全評価委員会は、有識者ら十一人でつくり、この日は十人が出席。新型コロナウイルス感染症対策のため、ビデオ通話アプリ「Zoom(ズーム)」で開かれた。(真子弘之助)

2021年(令和3年)5月29日 土曜日

社会・総合 24

## 加熱装置の改造 安全評価委承認

土岐市の核融合研

土岐市下石町の核融合科学研究所の第21回重水素実験安全評価委員会が28日、オンラインで開かれた。本年度の実験開始に向け、計画している加熱装置の改造について説明があり、委員会承認した。

実験は10月中旬に始める予定。中性粒子ビーム入射加熱装置は、補正磁石を置くことで重水素使用時の負

イオン源の加熱電力を1・4倍に向上させるほか、電子サイクロトロン共鳴波加熱の効率を高めるため、ミラーを置いてマイクロ波入射の角度を変える。

委員会では昨年度の実験で発生した放射線量などの数値をまとめた年報の内容も審議。2022年度まで続く実験の今後について、同研究所は「温度の数値目標は達成したので、今後はそのメカニズムの解明につながる学術研究を進める」と説明した。